

科目コード	51551	授業科目	実践老年看護特論 I Practical Geriatric Nursing Theory I			担当教員	○大湾明美 田場由紀	
開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・特論	授業形態	講義	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	30時間					
授業概要	老年看護に関する概念や歴史を理解し、高齢者の特性及びそのアセスメントとケアを習得し、高度な看護実践に必要な高齢者の健康生活への理解を深める。							
到達目標	1. 高齢者及び老年看護に関連する概念、歴史について、述べることができる。 2. 高齢者の特性(身体機能、精神機能、社会機能、生活環境、地域文化)について、述べることができる。 3. 高齢者ケアにおけるアセスメントとケアについて、述べることができる。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1回	高齢者及び老年看護の概念 (老年期とは？、健康とは？生活とは？等)						大湾明美	
第2回	老年看護の歴史 (日本及び諸外国における老年看護の歴史等)						〃	
第3回 ～ 第7回	高齢者の特性 ①生活環境:生活の場、高齢者とバリアフリー、地域特性等 ②身体機能:加齢と老化、生理機能、感覚機能、老年症候群等 ③精神機能:生きがい、主観的健康感、主観的幸福感等 ④社会機能:社会関係、サクセスフルエイジング等 ⑤地域文化:高齢者と地域文化等						田場由紀 〃 大湾明美 〃 〃	
第8回 ～ 第13回	高齢者ケアにおけるアセスメントとケア ①アセスメントとケアの基本 ②コミュニケーション、面接技法 ③評価方法、アセスメントツール ④食事機能 ⑤排泄機能と清潔機能 ⑥移動機能						大湾明美 〃 〃 田場由紀 〃 〃	
第14回	老年看護における実践・教育・研究の動向と課題						大湾明美	
第15回	まとめ						大湾明美	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。							
成績評価の方法	授業への参加態度、討論、プレゼンテーション、課題レポートに基づき、総合的に行う。							
備考	進め方:各教員が専門的立場から講義形式を中心に行う。 運営:授業への主体的参加を前提に、院生の発表と討議により理解を深める。							

科目コード	51552	授業科目	実践老年看護特論Ⅱ Practical Geriatric Nursing Theory II			担当教員	○大湾明美 田場由紀	
開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・特論	授業形態	講義	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	30時間					
授業概要	複雑な健康問題を持つ高齢者について、老年期の発達課題、老年看護の理論・モデル、高齢者のセルフケア、高齢者の倫理についての理解を深める。また、家族を含めて高齢者の抱える健康問題を解決するために、家族を理解するための理論や家族関係などを学習する。							
到達目標	1. 老年期の発達課題について、述べるができる。 2. 老年看護に用いられる主要な理論・モデルについて、述べるができる。 3. 高齢者のセルフケアに関する理論と実際について、述べるができる。 4. 高齢者と家族の問題と解決方法について、述べるができる。 5. 高齢者をめぐる倫理上の課題について、述べるができる。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1回	老年期の発達課題						大湾明美	
第2回	①ライフサイクル、エイジング、エリクソン等						〃	
第3回	②自我発達						〃	
第4回	老年看護の理論・モデル						〃	
第5回	①ストレングスモデル、エンパワメント等						〃	
第6回	②役割理論、危機理論、社会的学習理論等						〃	
第7回	③ニーズ論						〃	
第8回	高齢者のセルフケア						田場由紀	
第9回	①セルフケアの概念、セルフケア理論等						〃	
第10回	②セルフケアをめぐる看護研究						〃	
第11回	③高齢者のセルフケア能力を活かした看護						〃	
第12回	④家族のセルフケア機能、家族のセルフケアと看護						〃	
第13回	高齢者と家族						大湾明美	
第14回	①家族の定義、家族の健康、家族の形態と機能等						〃	
第15回	②家族を理解するための理論:家族関係論、家族システム論等						〃	
第16回	③家族関係の問題と解決方法						〃	
第17回	④介護者としての家族						〃	
第18回	高齢者と倫理 (自己決定、インフォームドコンセント、人権擁護)						〃	
第19回	まとめ						〃	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。							
成績評価の方法	授業への参加態度や、討論、プレゼンテーション、課題レポートに基づき、総合的に行う。							
備考	進め方:各教員が専門的立場から講義形式を中心に行う。 運営:授業への主体的参加を前提に、院生の発表と討議により理解を深める。							

科目コード	51553	授業科目	実践老年看護特論Ⅲ Practical Geriatric Nursing Theory Ⅲ			担当教員	○大湾明美 田場由紀	
開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・特論	授業形態	講義	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	30時間					
授業概要	高齢者のサポートシステムの現状と実際について理解し、今後の高齢者のためのサポートシステムを創造し、提案する。							
到達目標	1. 高齢者のサポートシステムの基本的な概念について、述べることができる。 2. 高齢者の保健・医療・福祉・看護のサポートシステムの現状について、述べることができる。 3. 高齢者のサポートシステムの実際を具体的に理解することができる。 4. 高齢者のサポートシステムを創造し、提案することができる。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1回	高齢者のサポートシステムの基本的な概念(ケアマネジメント、ソーシャルサポート等)						大湾明美	
第2回	高齢者のサポートシステムの現状						〃	
～	①保健・医療からみたサポートシステム						〃	
第4回	②福祉・介護からみたサポートシステム						〃	
	③看護からみたサポートシステム							
第5回	高齢者のサポートシステムの実際①						田場由紀	
第6回	在宅の事例							
第7回	高齢者のサポートシステムの実際②						田場由紀	
第8回	新しい住まいの事例							
第9回	高齢者のサポートシステムの実際③						大湾明美	
～	地域における事例							
第12回								
第13回	高齢者のサポートシステムの創造						〃	
第14回	今後のサポートシステムの提案							
第15回	まとめ						大湾・田場	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。							
成績評価の方法	授業への参加態度や、討論、プレゼンテーション、課題レポートに基づき、総合的に行う。							
備考	進め方:各教員が専門的立場から講義形式を中心に行う。 運営:授業への主体的参加を前提に、院生の発表と討議により理解を深める。							

科目コード	51554	授業科目	実践老年看護特論Ⅳ Practical Geriatric Nursing Theory IV			担当教員	○大湾明美 田場由紀 桑田美代子(非常勤)	
開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・特論	授業形態	講義	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	30時間					
授業概要	高齢者を取り巻く社会の変遷と社会保障、高齢者ケアに関連する政策、老人看護専門看護師の活動と看護管理の現状と実際について、理解を深める。							
到達目標	1. 高齢者を取り巻く社会の変遷と社会保障について、述べることができる。 2. 高齢者ケアに関連する政策について、述べることができる。 3. 老人専門看護師の活動をとおしてその役割機能等について、述べることができる。 4. 看護管理の現状と課題について、述べることができる。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1回	高齢者を取り巻く社会の変遷						大湾明美	
第2回	〃						〃	
第3回	超高齢社会における社会保障の動向						〃	
第4回	〃						〃	
第5回	保健・医療・福祉・介護の政策						田場由紀	
第6回	〃						〃	
第7回	老年看護に関連する政策						〃	
第8回	〃						〃	
第9回	老人専門看護師の活動						桑田美代子(非常勤)	
第10回	①専門看護師誕生の背景、歴史、教育課程等 ②老人看護専門看護師の役割機能						〃	
第11回	高齢者ケア施設における看護管理の現状と課題						〃	
第12回	〃						〃	
第13回	高齢者ケア施設における看護管理の研究の現状と課題						大湾明美	
第14回	〃						〃	
第15回	まとめ						大湾明美	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。							
成績評価の方法	授業への参加態度や、討論、プレゼンテーション、課題レポートに基づき、総合的に行う。							
備考	進め方:各教員が専門的立場から講義形式を中心に行う。 運営:授業への主体的参加を前提に、院生の発表と討議により理解を深める。							

科目コード	51555	授業科目	実践老年看護演習 I Practical Geriatric Nursing Seminar I			担当教員	○大湾明美 田場由紀	
開講年次	博士前期課程 1～2年次	単位数	2単位	科目分類	専門科目・演習	授業形態	演習	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	60時間					
授業概要	在宅における高齢者ケアがエビデンスに基づいて実践できるように、重要な概念及び現状と課題について、最新の国内外の文献を通して知識を深め、自己の課題を明確化する。 また、在宅の高齢者ケアにおける高度の看護専門職者としての役割機能について、学習する。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅における高齢者ケアにおける重要な概念及びケアの現状と課題について、述べることができる。 2. 文献学習により在宅における高齢者ケアの知識を深め、研究方法や問題解決方法等の多様性を理解することができる。 3. 文献学習の結果を自己の課題につなげ、在宅における高齢者ケアの改善のための提案をすることができる。 4. 在宅における高齢者ケア、特に生活環境、生活活動、家族関係における看護の役割機能について、述べるができる。 5. 学生の関心を基に、実践上及び研究上の疑問を明らかにし、実習や課題研究に役立てることができる。 							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1・2回	在宅における高齢者ケアの重要な概念及びケアの現状と課題						大湾明美	
第3～12回	文献学習①(認知症高齢者ケアに関する文献)〔教員または学生による提示〕						〃	
第13・14回	文献学習の報告及び自己の課題の提案(学生報告)						〃	
第15・16回	在宅における高齢者ケアにおける自己の課題の明確化						〃	
第17～22回	文献学習②(自己の課題に関連する文献)						〃	
第23・24回	在宅における高齢者ケアにおける看護の役割機能(直接ケア、相談、調整、教育)						田場由紀	
第25・26回	生活環境、生活活動に関する看護の役割機能(直接ケア、相談、調整、教育)						〃	
第27・28回	家族関係に関する看護の役割機能(直接ケア、相談、調整、教育)						〃	
第29・30回	在宅における高齢者ケアの改善のための計画書の報告及び課題の提案						大湾明美・ 田場由紀	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。							
成績評価の方法	授業への参加態度や、討論、プレゼンテーション、課題レポートに基づき、総合的に行う。							
備考	進め方:演習内容により、資料や文献等を用いて進める。 運営:前半は教員主導、後半は学生主導で行う。							

科目コード	51556	授業科目	実践老年看護演習Ⅱ Practical Geriatric Nursing Seminar II			担当教員	○田場由紀 大湾明美	
開講年次	博士前期課程 1～2年次	単位数	2単位	科目分類	専門科目・演習	授業形態	演習	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	60時間					
授業概要	<p>認知症高齢者ケアがエビデンスに基づいて実践できるように、重要な概念及び現状と課題について、最新の国内外の文献を通して知識を深め、自己の課題を明確化する。</p> <p>また、認知症高齢者ケアにおける高度の看護専門職者としての役割機能について、学習する。</p>							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症高齢者ケアにおける重要な概念及びケアの現状と課題について、述べることができる。 2. 文献学習により認知症高齢者ケアの知識を深め、研究方法や問題解決方法等の多様性を理解することができる。 3. 文献学習の結果を自己の課題に繋げ、認知症高齢者ケアの改善のための提案をすることができる。 4. 認知症高齢者ケア、特に生活環境、生活活動、家族関係における看護の役割機能について、述べるができる。 5. 学生の関心をもとに、実践上及び研究上の疑問を明らかにし、実習や課題研究に役立てることができる。 							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
1回-2回	認知症高齢者ケアにおける重要な概念及びケアの現状と課題						田場由紀	
3回-14回	文献学習① 認知症高齢者ケアの現状						〃	
15回-22回	文献学習② 認知症高齢者ケアの開発と課題						〃	
23回-24回	認知症高齢者ケアにおける看護の役割機能(直接ケア、相談、調整、教育)						大湾明美	
25回-27回	生活環境、生活活動に関する看護の役割機能(直接ケア、相談、調整、教育)						〃	
27回-28回	家族関係に関する看護の役割機能(直接ケア、相談、調整、教育)						〃	
29回-30回	認知症高齢者ケアの改善のための方法						田場由紀・ 大湾明美	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。							
成績評価の方法	授業への参加態度や、討論、プレゼンテーション、課題レポートに基づき、総合的に行う。							
備考	進め方:演習内容により、資料や文献等を用いて進める。 運営:前半は教員主導、後半は学生主導で行う。							

科目コード	51557	授業科目	実践老年看護実習 I Geriatric Nursing Practicum I			担当教員	○田場由紀 大湾明美	
開講年次	博士前期課程 2年次前期	単位数	4単位	科目分類	専門科目・実習	授業形態	実習	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	180 時間					
授業概要	認知症や脳血管障害等により生活機能障害を持つ高齢者が生活している施設と在宅の場で、対象を総合的にアセスメントし生活ニーズを導き、直接ケア、教育、相談、調整の役割機能をいかし、高度な看護実践者としての能力を養う。							
到達目標	1. 認知症などの生活機能障害を持つ高齢者の生活ニーズを解決するために、高度のアセスメント、計画、実施(直接ケア、教育、相談、調整)、評価を展開することができる。 2. 施設と在宅での高齢者ケアの実習を通して、看護実践上の課題を述べるができる。 3. 高度な看護実践者として、看護実践上の課題の解決に向けた提案ができる。							
回数	教育内容及び計画						担当者名	
	1. 在宅でケアを受けている場での実習〔訪問看護ステーション等〕(4週間) (浦添市:名嘉村クリニック在宅ケアセンター) 1) 訪問看護ステーション等で、老人看護専門看護師相当の指導者(師長、所長、看護部長)の指導を受け、アセスメント、計画、実施(直接ケア、教育、相談、調整)、評価の看護実践を行う。 2) 看護実践事例のうち 3 事例を選択し、ケースレポートを作成する。事例選定は、認知症高齢者、実習先の処遇困難事例を含むものとする。 3) ケースレポートをもとに担当教員と事例検討し、看護実践上の課題を見いだす。 4) 看護実践上の課題の解決に向けたレポートを作成し、プレゼンテーションし、指導教員とディスカッションをする。 5) 課題の解決に向けたレポートを作成し、老人看護専門看護師相当の指導者にプレゼンテーションし、課題解決の具体策を共に検討する。 2. 集団でケアを受けている場での実習〔認知症高齢者の施設等〕(4週間) (那覇市:オリブ山病院認知症治療病棟) 1) 認知症高齢者の施設等で、老人看護専門看護師相当の指導者(師長、所長、看護部長)の指導を受け、アセスメント、計画、実施、評価の看護実践を3事例行い、ケースレポートを作成する。 2) 3事例のアセスメント、計画、実施、評価のケースレポートを作成し、看護実践上の課題を見いだす。 3) 看護実践上の課題の解決に向けたレポートを作成し、プレゼンテーションし、指導教員及び老人看護専門看護師相当の指導者とディスカッションをする。						田場由紀 大湾明美	
教育の進め方、運営、評価	進め方:学生は主体的に担当教員と実習先の指導者と調整し、指導のもとに計画、実施する。 運営:学生の主体で展開する。 評価:ディスカッションにおける参加度、実習先の指導者の情報、実習計画書、プレゼンテーション内容、ディスカッション内容、レポートに基づき、総合的に評価する。							
備考								

科目 コード	51558	授業 科目	実践老年看護実習Ⅱ Geriatric Nursing Practicum Ⅱ			担当 教員	○大湾明美 田場由紀	
開講年次	博士前期課程 2年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・実習	授業 形態	実習	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	90時間					
授業概要	認知症高齢者の看護活動をととして、高度な看護実践者に必要な家族を含む認知症高齢者への直接ケアを習得する。また、高齢者ケアの場で、看護職や保健医療福祉の専門職者への教育、相談、調整の能力を習得する。							
到達目標	1. 認知症高齢者専門施設などで、家族を含む認知症高齢者への高度な直接ケアができる。 2. 高齢者ケアの場で老人看護専門看護師の指導のもとに、専門看護師としての看護活動が理解できる。							
回数	教育内容及び計画						担当者名	
	1. 認知症高齢者専門施設における実習(1週間)(岡山県:きのこ介護老人保健施設) <ol style="list-style-type: none"> 1) 老人看護専門看護師相当の指導者のもとに、「実践老年看護実習Ⅰ」での認知症高齢者事例からの学びや看護実践上の課題の解決方法をいかし、家族へのケアを含めて看護活動を実践する。 2) 看護活動の実践を、専門看護師に求められる役割機能(直接ケア、教育、相談、調整)にそってレポートを作成する。 3) レポートをもとに、プレゼンテーションし、担当教員とディスカッションを行う。 4) 老人専門看護師が身につけるべき看護実践の知識とスキルについてレポートする。 2. 老人看護専門看護師が勤務する機関・組織における実習(1週間)(東京都:青梅慶友病院) <ol style="list-style-type: none"> 1) 老人看護専門看護師の看護活動(直接ケア、スタッフへの教育、相談、調整、管理運営)に参加する。 2) 老人看護専門看護師の看護職や保健医療福祉の専門職者へのコンサルテーションや調整の視点からレポートを作成する。 3) レポートをもとに、プレゼンテーションし、担当教員と老人看護専門看護師とディスカッションを行う。 4) 老人専門看護師が身につけるべきコンサルテーションや調整についてレポートする。 3. 最終報告及び担当教員とのディスカッション 「実践老年看護実習Ⅰ」、「実践老年看護実習Ⅱ」の実習を振り返り、最終報告を行い、担当教員とディスカッションをし、「実践老年看護課題研究」につなげる。						大湾明美 田場由紀	
教育の 進め方、 運営、評価	進め方:学生は主体的に担当教員と実習先の指導者と調整し、指導のもとに計画、実施する。 運営:学生の主体で展開する。 評価:ディスカッションにおける参加度、実習先の指導者の情報、実習計画書、プレゼンテーション内容、ディスカッション内容、レポートに基づき、総合的に評価する。							
備考								

科目コード	51559	授業科目	実践老年看護課題研究 Practical Geriatric Nursing Problem Study			担当教員	◎大湾明美 田場由紀	
開講年次	博士前期課程 1～2年次	単位数	2単位	科目分類	専門科目・課題研究	授業形態	演習	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	60時間					
授業概要	老年看護領域に関連した現場で(自分が)直面する課題に焦点をあて、講義・演習・実習を通して得た課題の知識・技術を参考に、看護実践の改善・改革に関する報告書を作成する。							
到達目標	1. 研究指導教員の指導の下で研究課題を明確化し、看護実践上の問題の追及ならびにその改善・改革を考究できる。 2. 論理的・倫理的思考ができ、実践における事実や思考過程のプロセスを記述できる。 3. 専門職者として生涯学習する態度を身につける。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
1年次	<2年間での修了予定の場合> 4月 入学時ガイダンス：実践看護の課題に関するオリエンテーション* 研究指導教員希望届の提出・決定* 履修指導、履修届の提出* <11月～6月 CNS実習 I (4単位)> 実習体験を通して課題を明確化する。						大湾明美 田場由紀	
2年次	4月 課題研究計画書の作成 研究倫理審査申請 研究フィールドの依頼と決定 5月 研究課題にそって情報収集・情報分析 6月・10月(2月)総合科目試験 * <7月～ CNS実習 II (2単位)> 10月(4月) 課題研究報告書作成 主査・副査の決定 考察・論文作成 12月(6月) 課題研究報告書(第1稿)・学位審査申請書の提出 * 1月(7月) 中間発表会、課題研究報告書(最終稿)の提出 * 2月(8月) 課題研究報告書審査・最終試験 * 合否及び修了判定 3月(9月) 公開発表会 * 課題研究報告書(保存版)の提出 * ※()内は前学期修了予定の日程							
1年次	<3年間での修了予定の場合> 4月 入学時ガイダンス：実践看護の課題に関するオリエンテーション* 研究指導教員希望届の提出・決定* 履修指導、履修届の提出* <11月～3月 CNS実習 I (2単位)> 実習体験を通して課題を明確化する。							

2年次	<4月～3月 CNS実習 I (2単位) > 実習体験を通して課題を明確化する。	
3年次	4月 課題研究計画書の作成 研究倫理審査申請 研究フィールドの依頼と決定 5月 研究課題にそって情報収集・情報分析 6月・10月(2月)総合科目試験 * <4月～ CNS実習 II (2単位) > 10月(4月) 課題研究報告書作成 主査・副査の決定 考察・論文作成 12月(6月) 課題研究報告書(第1稿)・学位審査申請書の提出* 1月(7月) 中間発表会、課題研究報告書(最終稿)の提出* 2月(8月) 課題研究報告書審査・最終試験* 合否及び修了判定 3月(9月) 公開発表会* 課題研究報告書(保存版)の提出* ※()内は前学期修了予定の日程	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。	
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。	
成績評価の方法	審査委員会により総合科目試験(口頭及び筆答による)、課題研究報告書の審査および最終試験(口頭又は筆答による)を行う。	
備考	注) *印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自掲示には十分注意を払うこと。 ◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。	